

次の文章を読んで、こども・若者の居場所づくりを進めるために大切なこととして、どのようなことが述べられているかを説明せよ。また、「こども・若者の居場所づくりにおいて大切なこと」についてのあなたの意見を述べよ。なお、文字数は全体で600字以内とする。

こども・若者の居場所のあり方は、地域性の影響を大きく受けるものである。例えば古くから住民が住んでいる地域なのか新興住宅街なのか、あるいは寺社が多い地域なのか商店街なのか等、その地域の特性によってどういった居場所が求められるかも変わり得る。このため、こどもの居場所づくりの取組を推進する際には地域性への配慮が不可欠であり、地域の実態に沿った形で取組を展開することが望ましい。この際、全てのこども・若者にとって、居場所を見つけることができるよう、【ふやす】・【つなぐ】・【みがく】・【ふりかえる】の4つの視点に立って取組を進めることが重要である。

【ふやす】：こども・若者が身近な地域で居場所を見つけることができるよう、居場所づくりに多様に取り組むことができる環境整備を進める。

【つなぐ】：こども・若者が居場所につながりやすくなるよう、広報啓発活動等を実施する。

【みがく】：こども・若者の居場所であり続けられるよう、既存の居場所づくりの取組であってもこども・若者の声を基に改善し続ける。

【ふりかえる】：居場所づくりの取組を検証し、さらなる発展につなげる。

地域の実態に沿った形で取組を進めるためには、地方自治体及び民間団体等が連携することが重要である。また、地域で多様に居場所づくりの取組が展開していくためには、地方自治体職員や実践者等の一部の人だけでなく、広く地域住民に関心を持ってもらうことが重要であり、居場所づくりに関わる地域の資源に関する情報共有や応援の声かけ等、多様な形の支援を受けながら進めることが求められる。

出典：令和7年版こども白書

<https://www.cfa.go.jp/resources/white-paper/r07>